

フッ化物洗口チェックリスト

安全に洗口を実施するため確認してみましょう

項目	チェック欄	ポイント
関係者の理解	職員の共通理解を得るための研修会や打合せを実施している	実施上の知識と技術が必要とされるため、研修会や打合せを行います
	フッ化物洗口に関する施設の責任者と担当者を決めている	責任者と担当者を明確にします
	保護者への説明会を行っている	保護者と情報を共有できるように説明会を開催するなどします
	年度に一度保護者への実施希望確認を行っている	実施希望を誤認しないよう申込書をとります
	希望の有無は、随時受け付けている	希望の有無は、随時受け付けます
薬剤の保管	歯科医師からの指示書がある	洗口液の濃度等を間違わないよう指示体制をつくります
	薬剤は保管庫で保管している	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの手が届かない鍵のかかる保管庫に保管が望ましいです ・見やすい場所に、容易に識別できるサイズで表示が望ましいです (白地に赤枠、赤字で『劇』を表示する) 例) 劇
	劇薬以外のもの(医薬品以外の物も含む)と区別して保管する	他の薬剤と区別して保管します
	薬剤の管理簿(出納簿)がある	洗口薬剤の受入、使用、残量がわかるものを整備します
液の作製	洗口液の調製(溶解)は洗口を理解している者が行っている	フッ化物洗口について理解した施設関係者が調製(溶解)します
	ボトルはフッ化物洗口専用を使用している	洗口液を誤って使用することがないように専用のものを使用します
	ボトルに内容物を表示している	内容物がわかるように表示します
洗口の実施	洗口は、30分飲食しない時間帯に実施している	洗口後30分は飲食を避けます
	職員による洗口の監督を行っている	職員の監視下で安全に実施します
	分注は、ボトルを水平な机上におき、エア抜き後に行っている	エア抜きを行いしっかりと液が出るようになってから分注します
	分注は、ポンプを十分押し行っている	ポンプは手のひらでしっかりと押します
	洗口時間を計測している	洗口時間は、未就学児が30秒～1分間、小学生以上が1分間行います
	未実施者への配慮をしている	未実施者には水道水で洗口させるなどの配慮をします
後片付け	【週1回法】残った洗口液は廃棄している	週1回法で実施する場合は、その都度廃棄します
	【毎日法(週5回)】 残った洗口液は直射日光や高温を避け、涼しい場所(冷蔵庫等)で保管している	毎日法(週5回)で実施する場合残った洗口液は1週間以内で使い切ることが望ましいです
	洗口後ボトルの洗浄をしている	流水でボトルやノズルを洗浄します
	分注ボトル等は、不潔にならないように保管している	カビが生えないようしっかりと乾燥させ、管理します
	ボトルを消毒している	2～3か月に1回は次亜塩素酸ナトリウム等を用いて消毒します